

議会だより

かわら

2026.4.30
No.107

福岡県香春町議会

香春町立香春恩永館



主な内容

3月定例会

第14回 議員と語ろう会を開催

テーマに分かれて意見交換をします。
みなさんの参加をお待ちしています。

日時▶ 令和8年7月11日(土) 午前10時から
場所▶ 町民センター 2階

当初予算 否決から可決へ……………	2
議会の仕組み……………	4
令和8年度の主な事業……………	6
一般質問 6人が町政を問う……………	12
卒業生・新入生インタビュー……………	20

令和8年度当初予算 85億円 否決から可決へ

町長より提出された議案第19号香春町一般会計当初予算が、令和8年3月議会第1回定例会の最終日である13日（金）に行われた採決の結果、否決されました。その後、19日（木）に開催された第2回臨時会で、再度、町長より当初予算の修正案が提出され、可決されました。可決されるまでの審議内容をお知らせします。



第1回定例会

3月5日（木）
議案上程

町長と財政担当課長から議案の内容説明を受け、議員からの質疑を行いました。

質疑

議員 経常収支比率が令和4年度は89%、令和5年度は91%と財政の弾力性がなくなっている。今後の見込みは。

町 令和6年度は90.6%、令和7年度の決算見込みで93.2%、令和8年度の予算で94.3%。人件費の抑制や事業の統廃合等に取り組んでいく。

議員 中学生国際交流海外派遣事業費が計上されているが、行先、派遣人数、選考方法は。

町 台湾で、生徒12名と引率4名程度を予定。一次選考で作文、二次選考で面接を行い、意欲など様々な観点で決めていく予定。

議員 投資的経費が約19億円で、前年比が約130%増となっているが、主な内容は。

町 旧香春小学校の子育て拠点整備事業の約7億3678万円などのハード事業によるもの。

常任委員会に付託

3月6日（金）
～11日（水）
委員会審査

総務文教常任委員会と厚生建設産業常任委員会で、所管する課の審査を行いました。

3月13日（金）
委員長報告

総務文教常任委員会委員長が連合審査の結果を含めて報告しました。

総務文教常任委員会委員長報告（要約）

議案第19号「一般会計予算」は、両委員会で慎重審査を行い、可決しました。総務文教常任委員会では、中学生国際交流事業に対し、生徒に国際的な視野を広げる機会を提供する事業の意義は認めるが、参加者負担金の見直しや世界情勢を踏まえた行先の選定などの意見が出されました。町に安心して参加できる計画を立てるように要望します。

採決結果

賛成少数で否決

賛成5人

反対7人

第2回臨時会

3月19日(木)
議案上程

否決されたため、町長から当初予算の修正案が提出され、議案の内容説明を受け、議員からの質疑を行いました。

町からの説明(要約)

町は、議会の判断を真摯に受けとめ、予算の内容を一部修正しました。審査の経過は、総務文教常任委員会及び厚生建設産業常任委員会に付託され、慎重審査の結果、両委員会において可決でした。総務文教常任委員会委員長報告で、中学生国際交流事業に対し、イランへの軍事攻撃が開始されるなど、社会情勢が急激に不安定化している状況を踏まえ、安全確保に対する懸念が示され、事業実施には、慎重にあるべきとの意見をいただきました。この意見を重く受けとめ、予算の修正案は、当該事業費の698万円を削除し、その他の事業は、委員会審査で可決いただいていること、委員長報告の後、議員からの質疑もないことから、町としては、必要な事業であると判断し、引き続き、計上しています。

質疑

議員 数年後には単年度収支が赤字になる推計が出ている。今の予算編成のままで、再び財政再建団体に転落する恐れはないのか。

町 経常収支比率は90%台と上昇傾向にあるが、人件費や扶助費の増で、全国的に同様の傾向。財政シミュレーションをしており、直ちに危険な状態ではない。

議員 中学生国際交流事業を廃止する修正案だが、この事業だけを廃止した理由は。

町 委員長報告や質疑で、当事業に対する要望が少なく、委員長報告にあった安全確保などの要望に対し検討した結果、議会から求められる要望に応えられないとし、当事業を廃止とした。

議員 旧香春小学校の子育て支援施設整備事業に約7億3678万円計上しており、1箇所を費用をかけすぎているのか。

町 ワークショップで町民の声を積み上げた結果、整備している。補助金、ふるさと納税、過疎債などが財源で、過疎債の返済は、4年目から12年目までで、当町の実質的な負担は年間360万円程度である。

討論

反対 三村 信也 議員
当初予算85億円と増額しているなか、子育て支援施設や旧香春中学校の除却工事のハード事業に予算が投じられている。住民サービスや子ども達への教育費などのソフト事業に予算を使ってほしい。国際交流事業は必要な事業であり、当事業のみを廃止し、全体的な予算の見直しが行われなかったため、反対する。

賛成 山下 剛 議員
今回の予算は、議会が要望してきた、かわらくバスの土曜日実証運行、タクシー利用助成券、敬老会行事助成金の増額、ごみステーション整備補助などが計上され、実を結んだ結果である。かわらっこパーク整備は、最大限に質の高いものをつくってほしいと議会から要望してきたことであり、賛成する。

賛成 鈴木 良一 議員
子育て支援施設は、令和3年3月から住民とのワークショップを通じて積み上げたものであり、議会も設計や工事費、請負契約など、責任を持って可決し、後押しをしてきた。旧香春中学校の除却は、単費では困難であったが、有利な起債が使える今こそ行うべきであり、議会が求めている企業誘致を促進するためにも、賛成する。

採決結果

賛成多数で可決

賛成7人 反対5人

採決結果とその賛否

○：賛成 ×：反対 ー：議長は採決に加わらない

議案名 (議案名は一部省略しています)	結果	鈴木良一	三村信也	村上寿利	大坪松雄	藤井清孝	永松伸一	山岡徹	永田太一	福島浩之	山下剛	鈴木治	下村和子	小松新一
【第1回定例会】 議案第19号 令和8年度一般会計予算	否決	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	ー
【第2回臨時会】 議案第31号 令和8年度一般会計予算	可決	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	ー

当初予算はこうして決まる

～議会の審議の流れと議員の役割を知ろう～

このページでは、当初予算を例に、議会の審議の流れを説明します。
P2・P3に掲載している第1回定例会と第2回臨時会の内容とあわせてご覧ください。

議会の審議の流れ ①提出→②議案上程→③質疑→④委員会審査→⑤委員長報告→⑥討論→⑦採決

①提出

- ▶町は、11月頃から各課で当初予算の作成を始めます。
- ▶町長・副町長・財政部局が、全体予算額・新規事業の有無・事業評価などの観点から、各課の予算を審査します。
- ▶2月までに予算案を完成させ、3月議会に提出します。
- ▶議員は事前に配付された議案書を確認し、問題点や論点を整理します。

当初予算ってなに?

町の1年間の収入と支出を見積もることで、福祉・教育・建設など、どのような行政サービスを行うかを計画した予算です。

②議案上程

- ▶町から議会の招集が行われ、当初予算が議案として提出されます。
- ▶町長から予算の概要を説明し、財政担当課長から補足説明を行います。

議案上程とは?

議会で条例案や予算案などの議案を正式に審議対象として会議にかける手続きのこと。この手続きによって、審議が始まります。

③質疑

- ▶議員が予算内容の不明点や課題を明らかにするため、質問を行います。
- ▶当町議会では、3回まで質問できるようになっています。

④委員会審査

- ▶総務文教常任委員会と厚生建設産業常任委員会に分かれて、福祉・教育・建設など、分野ごとに詳しく審査します。
- ▶議員は、細かく事業内容をチェックし、必要に応じて見直しを求めることができます。
- ▶委員会でも賛成・反対の採決を行います。
- ▶委員長を除く5名の委員で採決を行い、3名以上の賛成で可決となります。
- ▶当町は2つの委員会に分かれて審査するので、各委員会の経過や問題点などを確認するための連合審査を行います。

ここがポイント

どのように見直しを求めるの要件はありますが、議員の権限として、①予算の一部を増額や減額する修正案を提出する方法
②今後の対応に関する要望を意思表示するため、附帯決議を提出する方法があります。

⑤委員長報告

- ▶連合審査や採決の結果を含めて、議場で審査内容を報告します。
- ▶議員は委員長報告に対し、質疑することができます。

反省ポイント

当町議会は、議員間の申し合わせにより、討論を省略していました。令和8年第2回臨時会からは、どのような理由で反対・賛成するのかを町民に対しても明確に説明する必要があるとして討論を行うこととなりました。

⑥討論

- ▶議員が、賛成・反対の立場から意見を表明します。他の議員や町民に向けて自分の考え方を説明できる場です。

⑦採決

- ▶議員が、賛成・反対の最終判断をします。
- ▶議長を除く12名で採決を行い、7名以上の賛成で可決となります。

採決結果で、可決 または 否決

さらなる議会改革へ 特別委員会設置

発議第2号 議会改革特別委員会設置にかかる決議

3月13日に議員提出議案である特別委員会設置の決議が可決され、委員長及び副委員長を互選しました。今後は3点の調査を進めていきます。



山下 剛 委員長

前回に引き続き、重責を担うこととなりました。議員の皆さんとともに、取り組んでいきます。



永松 伸一 副委員長

山下委員長のもと、しっかりと学びながら務めてまいります。

目的 当町議会における適正な議員定数及び議員報酬並びに議会改革の調査研究をすること

委員定数 12人（議長を除く全議員）

調査事項 (1) 議員定数に関する調査
(2) 議員報酬に関する調査
(3) 議会DX推進に関する調査

DXとは？

デジタル技術を活用し、仕事のやり方や暮らしを便利なものに変えること。

同意

固定資産評価審査委員会 委員の任命

再 かわむら ひでき
河村 秀樹 氏
(前村区)

任期は3年間

令和8年4月1日～

令和11年3月31日

原案可決

発議第1号 委員会条例の一部改正

町の課設置条例の改正に伴い、常任委員会で審査する課を改正。

総務文教常任委員会

- ・総務課
- ・総合政策課
- ・地域振興課
- ・人権同和推進課
- ・教育課
- ・会計室

厚生建設産業常任委員会

- ・税務住民課
- ・福祉課
- ・保険健康課
- ・建設課
- ・住宅水道課
- ・農林振興課

まちへ

総合計画をCHECK



審議結果をCHECK



議会情報はこちらから

令和8年度一般会当初予算の概要

予算総額は歳入歳出それぞれ85億7,731万円（対前年比6億5,993万円増）であり、主な増加要因は子育ての拠点整備事業及び旧香春中学校除却工事に係る経費の増によるものです。当初予算を、第5次香春町総合計画の3つの基本目標「暮らしを守る」「人を育む」「社会をつくる」に区分し紹介します。

3月定例

令和8年3月議会は、3月3日（火）から13日（金）までの11日間開催。議案・発議等33件は、32件を原案のとおり可決し、1件を否決しました。否決された議案「令和8年度一般会計予算」は、町が修正を行い、3月19日（木）の第2回臨時会で可決しました。

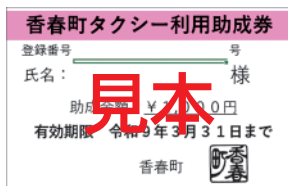
タクシー利用助成券

750万円

自動車の運転免許を持っていない70歳以上の町民を対象に、15,000円分の利用助成券を交付。利用できるタクシー会社は、田川構内自動車のみ。令和9年2月26日（金）までに申請が必要で、3月末まで利用可能。

Q 令和7年度の申請者は約290人と聞いたが、利用者を増やす方法を考えているか。

A 運転免許証を持っていない方の統計データはないため、令和7年度と令和8年度の実績がでたときに、支援を必要とする人数が把握できると考えている。制度の周知は、引き続き行う。



詳しくは、総合政策課 ▶
(☎32-8408)



土曜日の実証運行を開始

2,450万円

町内全域で利用できるAIオンデマンドバスのかわらくバス3台の運行経費。5月から土曜日の実証運行を開始する。

Q 予約した人に到着をお知らせすることはできないか。

A 現システムにお知らせする機能はない。また、コールセンターや運転手からの電話連絡も業務の流れを考えると困難。



詳しくは、総合政策課 ▶
(☎32-8408)



臨時議会

議会の仕組み

当初予算

一般質問

要望書の回答

卒業式・入学式

傍聴者の声

暮らしを守る

便利で快適な

新規

議会からの要望で実現

ごみステーションの 整備に補助

50万円

ごみステーションの適正管理を促進するため、ごみ箱・ネットの新規購入や修繕を行う場合、経費の2分の1を補助。新規の上限額は5万円、修繕や不法投棄対策の防犯カメラ設置費用などの上限額は3万円。事前に申請が必要。



詳しくは、税務住民課
(☎32-8400)



かわらくバス車両更新

348万円

かわらくバスの10人乗り3台のうち、1台を小型の車両に更新予定。乗り降りなど、利便性を実証実験する。

Q納期の見込みは。

A年度内に納車できるよう、事務手続きを進める。

Q更新で不要となる10人乗り1台の使い道は。

A老朽化した公用車と入れ替えて使用する。

運動公園の適正管理に

1,617万円

総合運動公園のテニスコート改修工事、野球場下の法面伐採工事、公園内の法面防草シート設置工事を実施予定。



改修を行うテニスコート

消防団格納庫を更新

5,817万円

老朽化した第6分団格納庫の建て替え工事を実施予定。



しい子どもを育むまちへ

新規

子育て世帯 訪問支援事業

114万円

家事・育児等に対して不安や負担を抱えた子育て家庭や妊産婦等がいる家庭に、町が委託した事業所より訪問支援員を派遣。

Q学校など関係機関と連携して取り組んではどうか。

A学校の不登校支援に、こども家庭センターの職員も関わっている。学校・行政・民間が連携し、家庭への支援を行う。

詳しくは、福祉課（☎32-8415）

拡大

子育て家庭を支援

30万円

保護者の就労状況に関わらず、保育所等に通っていない生後6か月から満3歳未満の子どもを時間単位で預かる乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）を採銅所保育所で実施。

Q申し込み方法は。

A窓口で申請した後は、国のシステムを活用し、予約を行う。

詳しくは、福祉課（☎32-8415）

子育て拠点「かばる」開所

742万円

令和8年4月開所の子育て支援施設かばるの運営事業費。子育て支援センター、こども家庭センター、地域子育て相談機関の3つの機能を統合。



気軽にお越しください

かわらっこパークの オープンに向けて

7億167万円

旧香春小学校のグラウンド部分に整備する子ども広場や賑わい創出施設の工事費を計上。



令和9年春オープン予定

議会からの要望で実現

拡大

敬老行事で 地域のつながりを

653万円

地区公民館等で実施される敬老行事に対する助成金を、物価高騰の影響により、1人あたり1,500円から2,000円に増額。



いつまでも元気に

詳しくは、保険健康課 (☎32-8401)

妊娠中から 食生活応援プロジェクト

794万円

母子手帳の申請時から1歳の誕生日まで、香春産米を活用した金芽米5kgを毎月自宅にお届け。



金芽米とは?

あこふんそう
「亜糊粉層」と呼ばれる、栄養が詰まった層を残して精米したお米の総称。

詳しくは、保険健康課 ▶
(☎32-8401)



安全な給食の提供を

920万円

給食センターの調理室など、水銀灯が使用されている箇所を優先に、照明をLED化する更新工事を実施予定。



新たな活用に向けて

3億2,758万円

国の起債事業を活用し、旧香春中学校除却工事を実施予定。事業費の90%を起債、残りの10%を町が負担。なお、起債90%のうち、50%が国から交付税として保障される。



起債とは?

自治体の借金であり、道路や公共施設などの建設事業に必要な資金を、国や金融機関から借り入れること。

産業が育つまちへ

新規

農作物 被害防止対策事業

510万円

農作物の鳥獣被害防止対策や狩猟資格者の増加を行うため、集落支援員制度を活用し、現場経験が豊富な人材を確保。地域全体が一体となって取り組めるよう推進。

Q集落支援員の具体的な業務内容は。

A防護柵の設置方法など、集落への説明や実演を行い、地域全体で取り組む気運や意識を高めていただく。

議会からの要望で実現

拡大

捕獲報酬を増額

86万円

鳥獣害防止対策協議会に補助を行い、捕獲報酬を1,000円増額し、イノシシ・シカの成獣で1万円、幼獣で4,000円。狩猟免許取得の補助は、新規取得で上限3万円、更新で上限1万円。



新たな協議会が誕生

240万円

採銅所コミュニティ協議会に続いて設立された勾金コミュニティ協議会や中津原コミュニティ協議会の3団体に対し、自主的な活動を支援するため、1団体の上限を80万円として補助。



勾金コミュニティ協議会のメンバー

お試し居住事業

537万円

当町への移住を検討している方に、日常生活を体験できる住宅を準備し、移住定住を促進。その住宅の管理運営を委託。



お試し居住で生活体験

詳しくは、地域振興課 (☎32-8413)

町民体育館の整備に

631万円

熱中症対策として、体育センター2階を改修し、空調設備を設置する環境整備を行う予定。

- Q 交流の場として、どのような活用ができるか調査研究してほしいが。
- A 先進地の管理や活用方法を勉強していきたい。



整備予定の体育センター2階

新規

公民館の空調整備に

350万円

地区公民館の空調を新規に設置する場合や交換する場合、上限を50万円とし、経費の4分の3を補助。

- Q 申請件数が多い場合の対応は。
- A 予算内で優先順位を付けて補助する。



詳しくは、教育課 (☎32-8410)

合併70周年記念事業

356万円

10月18日(日)に式典を開催予定。元プロ野球選手の山本昌氏の記念講演などを行う計画。



お得な商品券を販売

1,000万円

プレミアム率30%の商品券、5,000冊を8月頃から申込開始予定。5,000冊のうち2,000冊はデジタル商品券として販売。



デジタル商品券イメージ

詳しくは、地域振興課 (☎32-8413)

香春分遣所（消防救急）の町外移転

町長

町民の不利益になると考えていない



みむら しゃや 三村 信也 議員

全ての児童生徒に
目を向けた学校へ

問 不登校及び兆候がある児童生徒数は。

答 加々見学校教育課長

本年1月末時点の不登校（年間30日以上欠席）者数は32名で、前年同期比で26名（44%）減少。不登校兆候（15日以上30日未満欠席）は約6割減少。

問 前年度と比較し、成果が見られる。その分析は。

答 国安まちづくり課長
R8年度に予定している施設2階カワラボの指定管理者

旧香春小の発展を

問 福祉や教育に専門性を持つ民間NPOや学校法人と協働し、多様な学びの選択肢をこの地につくる考えは。

答 鶴我町長
田川地区消防組合の総合的な判断であり、消防組合全体で、田川市郡全域を補完する。

香春分遣所（消防救急拠点）が町外へ

の公募に際し、新たな視点を設けるかどうか検討したい。

問 分遣所の移転は、現地点から町外予定地まで最短路で3・6km遠ざかる。緊急車両が最高時速80kmで走行しても3分以上の遅れが生じる。3分以上の遅れは、特に乳幼児や高齢者の救命率低下になりかねない。移設後から今後何十年も、未来の世代にこの不利益を被ることになるが、町民に十分な説明を行ったか。町民不在で移設が決まったのではないか。

答 加々見学校教育課長

現場の教職員に加え、スクールソーシャルワーカー、カウンセラー等が連携し、一人ひとりに寄り添った地道な対応が結果に繋がっている。

答 江藤総務課長

田川広域での事業で、組合が今後説明会を行うと聞いている。まずは組合の住民説明会で十分だと考える。また、緊急出動到着時間が極端に変わらぬよう、新庁舎を当町から離れない場所へお願いした。

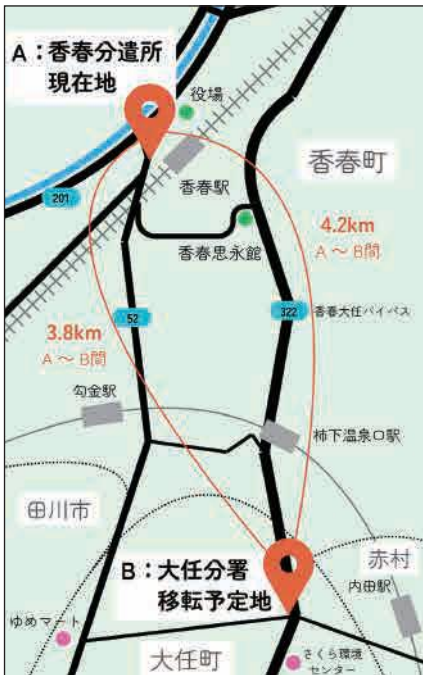
問 情報公開請求して入手した文書では、何度か協議をした上で、町として候補地を提示した結果、合意に至らなかった。R6年7月1日の消防組合からの回答に対し、

答 鶴我町長

移転による到着時間の差を一番心配されているが、移転が完全に町民の不利益になると思っていない。

町として再交渉を要望したか。
答 江藤総務課長
結果的には延長されたが、R7年度終了の補助金を活用するためのタイムリミットがあり、再交渉は行っていない。

問 町外移転は、町民の生命と財産を守る観点でマイナスではないか。



現在の香春町高野から予定地の大任町今任原へ

バスが町外に行くことを望む

町長

町外運行まだ・土曜日運行から



議員 松雄 まつお おおつほ 大坪

まち・ひと・しごと 創生総合戦略を問う

問 かわらくバスの町外運行はできないとなっているが、町長の考えを。

答 鶴我町長 土曜日運行から始めて、今後、タクシー利用助成やアンケート結果を踏まえ検証する。

問 香春れんげ米を町の特産米として販売しては。
答 岩丸産業振興課長 環境面や技術面の検証をしている段階。付加価値を付けている。

て販売したいが、米の価格高騰により、安い米が売れている状況もある。引き続き、推奨していきたい。

問 移住促進と住環境整備で人口流出を防ぎ、新しい人の流れをつくるとあるが、今後の方針は。
答 國安まちづくり課長 空き家・空き地バンクに力を入れて推進していく。

問 子育て支援施設の運営方針は。
答 森江福祉課長 子育て支援施設「かばる」

は、子育て支援センター、子ども家庭センター及び相談機関の3つの機能を持つ。妊娠期から子育ての終わる期間まで、伴走型のサポート施設として運営を行う。

問 地域運営組織だけでなく、町民全体でのまちづくりをすべきと思うが、住民主体のまちづくりの推進とは、どのようなまちづくりか。
答 國安まちづくり課長 自分ごととして地域のことを考え、住民同士が協力し合える地域づくりを考えている。

問 町民の憩いの場所として、かわらっこパークと隣接した場所に図書館を造っては。
答 鶴我町長 町民センター内に図書室が

町に図書館を

ある。

問 子ども達が遊びながら本と出会う学びの一步としての場所づくり、子どもから高齢者までの憩いの場所づくりとして、図書館を考えては。ほしいが。

答 鶴我町長 今ある公共施設、上水道、農業施設などのインフラ整備を守っていかないといけない。インフラ整備には相当な経費がかかるため、将来を見据え検討していきたい。



武雄市子ども図書館

臨時議会

特別委員会設置

当初予算

一般質問

要望書の回答

卒業式・入学式

傍聴者の声

職員倫理条例の制定を検討しては

総務課長

現在、条例は無いが検討したい



村上 村上 議員

倫理

問 公務員の増収賄事件に関するが、近隣自治体には職員向けの倫理条例を制定しているところもある。当町でも検討してはどうか。

答 江藤総務課長 人材育成基本方針に倫理や

サービスを追加し、方針を定める方法もあり、検討する。

答 鶴我町長 他町村の動向を把握し、考えていく。

問 ある行政区公民館に複数の役場管理職員が入って行くところを目撃した。その日時、公式の会合はないと地域住民から説明を受けた。全体の奉仕者である公務員は、公式でない飲食会に出席すべきではないと思うが。

答 江藤総務課長 地域住民との交流は必要と思うが、疑念を抱かせる行為

は避けなければいけない。倫理条例の制定も考えていく。

松本井堰を可動堰に

問 役場前の松本井堰付近には、大量の土砂が堆積し、樹木も生い茂り、井堰が有ることで河川の流量が低下している。異常気象に伴う集中豪雨が発生した場合、香春地区は浸水想定が最大3m程になっている。堆積土砂の掘削として井堰の可動堰化を。

答 新谷建設課長 伐採及び浚渫は、他の箇所を含め、治水上の優先度を考慮して実施すると県から回答を受けている。

答 鶴我町長 水稲用に設置されており、受益戸数が現時点で12戸。工事には膨大な経費が見込まれ、県と協議した経緯もあるが、

現時点で答弁は困難。



土砂が堆積し、樹木が密生している松本井堰

香春10山2025

問 確実な集客が有るとされる事業であるが、本年度の実績は。



答 岩丸産業振興課長 スマホアプリを使用した集客イベントであるが、登録者数899名のうち、実際に山に登った方が697名。

問 事業費用は。

答 岩丸産業振興課長 登山道の維持管理費、踏破した方への商品代、PR費等を合わせ約156万円。

新たな協議会への人的支援は



やまおか
とおる 議員
山岡 徹

まちづくり課長

町雇用で2名体制を確保

問 車両を小型化し、台数を増やしては。

答 国安まちづくり課長
入れ替えて1台は小型化する。台数は、1日の乗車人数や待ち時間のほか、財政的な観点を含め考えていく。

答 岩丸産業振興課長
ノルマではなく、業務改善の指標として設定した数字。

問 捕獲報償金の増額と狩猟免許取得の補助増額は。

答 岩丸産業振興課長
令和8年度から増額予定。

問 返礼品の数は何品目か。

答 国安まちづくり課長
1208品目。

問 寄附金の総額は。

答 国安まちづくり課長
2月末時点で、10億8750万円。

地域交通は

問 勾金と中津原地域コミュニケーション協議会の体制は。

答 国安まちづくり課長
それぞれの協議会に、町が雇用する集落支援員1名と生活支援コーディネーター1名を配置し、体制づくりをする。

問 利用者101人が回答したアンケートでは、7割が町外運行を希望している。その後の検討は。

答 島ノ江副町長
令和8年度からタクシー利用券を増額する。総合計画のアンケートや公共交通会議など複合的に検討する。

答 国安まちづくり課長
5月から土曜日運行の実証試験を考えている。

鳥獣被害は

問 現在までの捕獲頭数は。

答 岩丸産業振興課長
2月末現在で合計256頭。内訳は、イノシシ62頭、シカ130頭、アナグマ21頭、アライグマ43頭。

ふるさと納税は

問 令和7年度の寄附金額と件数は。

答 国安まちづくり課長
令和8年1月末現在で、寄附金額は約5億2千万円、件数は1万8千505件。

問 どの返礼品が多く出ているか。

答 国安まちづくり課長
米の価格高騰の影響で、米の大きな割合を占めている。



香春れんげ米

問 運営に対する町の支援と国の交付金は。

答 国安まちづくり課長
活動資金として町単費で年間80万円補助。ソフト事業に対する国の交付金は申請中。

受益者負担の軽減に支援を

町長

今年度から前に進める話を構築する



ながた たいち 議員

問 当町における農業従事者の減少と高齢化は深刻な状況であり、中山間地域での耕作が多く課題が山積している。このような状況で、農業を営む農業従事者数の推移は把握できているのか。

答 岩丸産業振興課長
2015年の農家数は449戸で、2020年は315戸であり、5年間で134戸減少。また、315戸のうち111戸が自家消費を目的とする農家で、204戸が販売農家である。当町の農業従事者の現状は95%が兼業農家であり、耕作環境も厳しく離農

も進んでいる状況と把握している。

問 農業従事者の平均年齢と耕作放棄地の面積は。

答 岩丸産業振興課長
2015年の農業従事者の平均年齢は60・6歳。2020年は64・2歳で、315戸の農家のうち、65歳以上の従事者は85%と高齢化が進んでいる。また、耕作放棄地の面積は、令和7年2月末で9・1ヘクタール。



農地の再生支援を

問 耕作放棄地は過去5年間で増加傾向にあるのか、抑制できているのか。

答 岩丸産業振興課長
耕作放棄地は減少傾向にある。しかし、山沿いや変形の農地など、耕作条件が不利な農地は耕作放棄地になる傾向が高く、耕作がしやすい所は地域の担い手が集積していたため、抑制できている状況。

問 当町の農地基盤整備率は51%にとどまっている。進まない要因の一つが、受益者負担にあると思われる。高齢化が進み、担い手も減少するなか、農家の方々は負担金を出すことが難しい。整備を望んでも実施には至らず、耕作放棄の増加につながっている。負担割合の軽減措置や高齢化が進む地区への特措置など、町が支援する考えはないのか。

答 岩丸産業振興課長
基盤整備事業では、令和4年度まで事業費の3割が受益者負担であったが、令和5年度から2割に軽減した。しかし、基盤整備など事業が大きくなると、2割でも負担が大きく、町がどこまで負担可能か検証している。



農地を守ろう

答 鶴我町長
柿下の基盤整備を例にして、他の地域でも取り組めるように提案していきたい。国や県の補助要件を満たす面積がない場合も含め、今年度から地域・農協・農業委員会の力を借りて取り組んでいく。

※その他、香春町を通る基幹道路の役割等の質問をした。

加齢性難聴者へ補聴器購入の補助を

町長 検証し、適切に判断する



しもむら かずこ 議員 下村 和子

問 検討はいつまでか。

答 佐野保険健康課長 直ちに検討する。

タクシー助成金は

問 タクシー利用助成金の実績と事業評価は。

答 国安まちづくり課長

1月末現在、申請者は29人で、このうち利用者数は172人。使用率は39・8%。

空き家対策は

問 香春町空き家等対策計画はすばらしい。多くの知人から空き家の相談を受け、町に相談するよう言っている。計画の成果は。

答 江藤総務課長

空き家の実態調査を行い、町の空き家解体補助金を活用した解体が令和7年度は10件であり、件数は伸びている。

狭い道の対策は

問 緊急車両が入らない狭い道の対応は。

答 江藤総務課長

火災時の消火活動では、田川消防署と消防団が連携し、可能な限り対応ができています。

問 私が参加している町の運動教室は、介護保険を受けていない75歳以上が対象で、元気な高齢者が70名くらい参加している。その教室で「耳が聞こえにくい」「補聴器を買いたいが高すぎて買えない」など多くの声を聞く。加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするが、全国で補聴器購入の助成制度がある自治体数と県内の状況は。

答 佐野保険健康課長

公的な統計情報ではないが、全国で453市町村、福岡県内では8市町が助成制度を設

問 私の調査では、助成額は5万円など自治体で異なるが、当町のできる範囲で助成しては。

答 佐野保険健康課長

高齢者福祉計画に基づき、運動教室など介護予防事業を重点的に取り組む。

問 この補助制度を実施する決断を。

答 鶴我町長

フレイル予防にも資すると考えており、検証し適切に判断しながら検討する。

臨時議会

特別委員会設置

当初予算

一般質問

要望書の回答

卒業式・入学式

傍聴者の声



- ▶ 2月16日に、要望した15項目の回答を町長からいただきました。
- ▶ 回答内容は、議会活性化検討委員会及び全員協議会で情報共有し、引き続き考察を進めていきます。

食と農の振興

要望 ▶ 地域おこし協力隊、集落支援員を活用し、特産品の生産に特化した農林業の活性化と後継者育成。

回答 ▶ 令和7年度は道の駅香春で新たに集落支援員を任命し、訪問販売の充実などに取り組んでいる。令和8年度から鳥獣被害防止対策として集落支援員を任命する計画。
(関連記事 P 10)

要望 ▶ 町全体の農地のほ場整備の推進。

回答 ▶ 集落説明会で事業の重要性を説明し、ほ場整備に係る戸別負担金の軽減を検討。

要望 ▶ 有害鳥獣駆除員の確保と育成のため、駆除報酬単価のさらなる増額。

回答 ▶ 令和8年度予算で増額を検討。
(関連記事 P 10)

要望 ▶ 広域の有害鳥獣駆除対策協議会の設置。

回答 ▶ 筑豊地区有害鳥獣捕獲等被害防止対策協議会があり、関係市町村と情報共有を行う。

子育て支援とスポーツ振興

要望 ▶ 探銅所保育所の今後の在り方を早期に決定し、保護者へ丁寧な説明とアンケート調査の実施。

回答 ▶ 出生数などの動向を踏まえ、令和8年度以降の公立保育所あり方検討委員会で、保護者アンケートの実施を含めて検討。

要望 ▶ 屋内外の施設整備や活動資金の支援により、スポーツクラブかわらの活動を充実させ、スポーツ振興を図ること。地域おこし協力隊を活用し、指導者を確保すること。

回答 ▶ 必要に応じて施設を改修し、スポーツクラブかわらに所属する団体には、施設使用料の減免など支援を継続。地域おこし協力隊の活用は、地域のニーズや課題に応じて検討。

要望 ▶ スポーツフェスタを地域活性化の取り組みとして拡充すること。

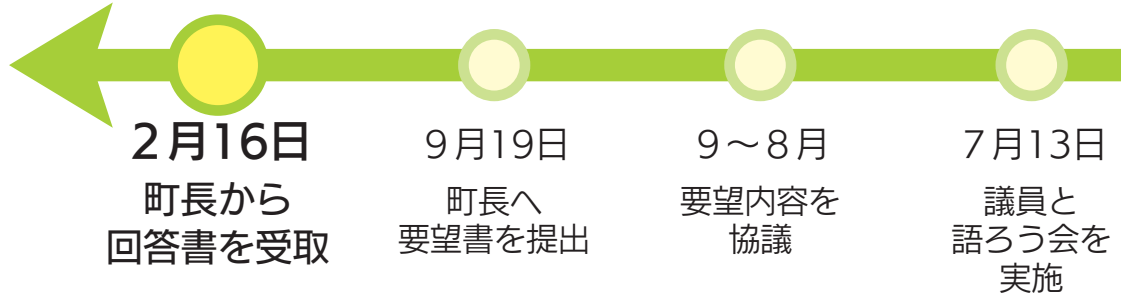
回答 ▶ 多くの方が参加できるよう種目や開催方法などを考える。

引き続き
検証



みなさんからの

施策の実現 再検証



地域環境とコミュニティ

要望 ▶ 令和6年9月議会で要望決議した「行政区への加入者の減少」「ごみ集積所の維持管理」「防犯灯の電気代負担」の検討状況を議会に報告すること。

回答 ▶ 防犯灯だけでなく、地域のニーズに沿った活動助成金の創設に向けて検討。ごみステーションの備品購入など、令和8年度予算で検討。（関連記事P7）

要望 ▶ 地区公民館や民間事業所を含めたクーリングシェルターの指定増加。

回答 ▶ 公民館や民間事業者は、指定基準を考えると難しい。

要望 ▶ 町と議会で防災イベントの実施。（学習会、講演会、体験ブース、防災グッズ展示）

回答 ▶ 議会も含めたイベントの実施にむけて検討。

要望 ▶ 高齢者の生活支援として、75歳以上の方に町内で利用できるクーポン券の配布。（誕生月の年1回）

回答 ▶ 実施する予定はない。

高齢者支援

要望 ▶ AIオンデマンドバスの運行見直し。
①土曜日運行の実施、②運行時間延長、③医療機関等への広域運行

回答 ▶ ①土曜日運行は、令和8年度から実証試験を計画。（関連記事P6）
②運転手確保が困難であり、運行時間を延長する予定はない。③タクシー助成券事業の結果を踏まえて検討。

要望 ▶ 町のイベントや選挙投票日におけるAIオンデマンドバス等による運行。

回答 ▶ イベントはシャトルバスの運行で検討。選挙当日は、平日の期日前投票の利用を周知する。

要望 ▶ 道の駅香春の移動販売車の増台と増便に向けた支援。

回答 ▶ 道の駅の集落支援員による農業活性化や移動販売の効率化を進めつつ、増台や増便は、事業効果を検証したうえで検討。

要望 ▶ 地区公民館活動の再生。（老人会、育成会など）

回答 ▶ 地区公民館の統廃合やコミュニティ協議会などとの連携も視野に検討。公民館での活動ができるよう、令和8年度から空調設置費用を助成。（関連記事P11）

祝 卒業 新たなる未来へ

3月12日（木）に香春思永館で、第5回卒業式が執り行われ、後期課程9年生の100名が卒業しました。希望を胸に抱き、思い出の詰まった学校を旅立つ卒業生と保護者にインタビューをしました。ご協力ありがとうございました。

卒業生インタビュー

10年後の私に向けてひと言

- プロ野球選手、4番打ってます。
- レストランの料理人、ミシュランとる。
- プロ野球選手になっている。
- 生きる。
- 自衛隊になる。
- 保育士になる。
- 住職、お経をちゃんと覚えてね。
- プロ野球選手になりたい。阪神のエースになる。
- 人を助ける仕事。
- 心理カウンセラー。
- 歯科衛生士になっていきますか。
- 幸せになりたい。
- 将来の夢であるウエディングプランナーになっていますか。
- 明るく、皆を笑顔にできるような、すてきな大人になってください。
- パティシエになりたい。
- 電気工事士になりたい。

保護者インタビュー

子どもに将来 どうなってほしいですか？

- ◆ 人と上手くつきあって、楽しい人生を送ってほしいです。
- ◆ お父さんのようなすてきな男性になってください。
- ◆ 父親みたいな人になってください。
- ◆ まっとうな人間になってほしい。
- ◆ かわいく育って。
- ◆ 子どもの夢がかなうように。
- ◆ 夢をかなえてほしい。
- ◆ このままで、素直で。
- ◆ 自分のやりたい事に向かって、がんばってください。
- ◆ パティシエの夢に向かってがんばって。
- ◆ かがやく人になってもらいたい。



臨時議会

議会の仕組み

当初予算

一般質問

要望書の回答

卒業式・入学式

傍聴者の声

祝 入学 夢の未来へ

4月13日（月）に香春思永館で、第6回入学式が執り行われ、新入生67名が入学しました。笑顔とともに新たな一步を踏み出す新入生と保護者にインタビューをしました。ご協力ありがとうございました。

新入生インタビュー

将来の夢はなんですか？

- プロ野球選手になりたい
- 警察官（2人）
- 剣道の達人
- 美容師
- ドラゴンボール ゴジータ
- サッカー選手（2人）

保護者インタビュー

子どもに将来
どうなってほしいですか？

- ◆ プロ野球選手
- ◆ 元気に大きく育てね
- ◆ 人の役に立てる
優しく思いやりのある子に育ててほしい
- ◆ 人の助けになるような大人
- ◆ 明るい元気な子
- ◆ 地元で貢献する人になってほしい
- ◆ のびのび育ててほしい
- ◆ 自由で明るい子



傍聴者の声

3月定例

本会議を傍聴していただきありがとうございます。皆様からいただきました意見（要旨）を掲載するとともに、内容は全員協議会で共有し、今後の改善に役立てます。引き続きアンケートへのご協力をお願いします。

傍聴ができない方が多いため、YouTube配信などできないでしょうか。議会の様子は広報紙の文字だけでは町民には伝わりません。（50代・70代）

▶ 新たに設置した議会改革特別委員会で調査・研究し、議論をしてみたいです。

かわらくバスの町外運行、いまだに積極的姿勢でないことは残念。（60代）

▶ 町民の皆様の生の声を聞き、引き続き、執行部と議会で議論を尽くしてみたいです。

香春分遣所移設の質問があったが、救急車が他町に移っても良い、又は移っても今と全く変わらないと思う町民は一人もいないはず。（70代）

▶ より良い香春町を共につくっていくため、これからもお気づきの点など、傍聴者アンケートの協力をお願いします。

補聴器の補助制度があれば少しでも安く買えますね。高齢者の一人暮らしの方のことも考えてほしい。（70代）

▶ 皆様からいただく貴重なご意見を大切に受け止め、これからも議論を尽くしてみたいです。

議会の質問で身近な空き家や高齢者対策が聞けてよかった。（60代）

▶ 執行部と議会が政策議論できるよう、しっかり取り組んでまいります。

傍聴者アンケート

●年齢は？

30代…1人 50代…1人 60代…2人
70代…8人 80代以上…2人 合計14人

●傍聴回数は？

2～4回目…4人 5回目以上…10人

●傍聴理由は？（複数回答可）

町議会や町政に関心がある……………12件
関心がある議案が提出されている… 5件
議員の質問内容に関心がある……………11件
議員の応援のため……………4件
知人、友人等に誘われた……………1件

子どもたちの笑顔を守って

町内のパトロールを通して、子どもたちを犯罪から守る活動を続けてきた香春町子ども安全みまもり隊にインタビューを行いました。

隊員の皆さんは「子どもたちとの触れ合いが何よりのやりがい」と語りますが、一方で若年層の参加が難しく、メンバー不足が大きな課題となり、3月末をもって活動は終了しました。

長年にわたり献身的に活動された、みきやすひろ三木康廣さん、いのうえすずむ井上奨さん、さねまさじゅういちろう實政壽一さん、たかはしあさえ高橋昭江さん、くしままさつぐ榎間正嗣さんに、心より深く感謝申し上げます。



次は6月議会 皆様の傍聴をお待ちしています！
第2回定例議会 6月16日(火)～19日(金)開催予定